

報道関係各位

平成 22 年 8 月 2 日
株式会社インターネット総合研究所

IRI、Twitter 用アプリケーションを無償提供 ～T2V 技術を使用した TVitcher (ツビッチャー) を開発～

インターネット総合研究所（東京都目黒区、代表取締役：藤原洋、以下 IRI）は、このたび Twitter をより楽しむためのミニアプリケーション"TVitcher"(ツビッチャー)を開発し、本日より Twitter ユーザーに無償提供いたします。

Twitter 社が運営している 140 文字以内の短い発言（つぶやき）を入力して、リアルタイムにユーザー同士で共有するミニブログサービス"Twitter"は、多くの有名人・芸能人も登録しており、ユーザー数も全世界で 1 億人、日本国内でも 500 万人を越えたと言われていきます。当社はこうした爆発的に増加している Twitter ユーザーに対し、テキストを入力した「つぶやき」を自動的に CG アニメーションに変換してくれる T2V (Text-To-Vision) の技術と Twitter とを組み合わせて使うアプリケーションを開発いたしました。尚、この TVitcher は英語にも対応しており、全世界の Twitter ユーザーを対象としております。（詳しくは別紙「TVitcher の機能」をご参照ください。）

Twitter のつぶやきを「読む」だけでなく、「聞いて」「見て」楽しめるクライアントソフト"TVitcher (ツビッチャー)"です。つぶやきが CG キャラクターのセリフとして再生されるので、Twitter ユーザーのつぶやきを動画番組のように楽しむことができます。キャラクターは、しゃべるだけではなく、つぶやきに TVitcher 専用のタグを書き込むことで、キャラクターに簡単な動きをつけることも可能です。つぶやきで、キャラクターを喋らせたり、動かしたりして、楽しむことができます。

T2V は TVML(*)をベースとして、テキストを映像に自動的に変換する技術であり、パソコン上で物語の台本を書くだけで CG 映像ができたり、Web ページのテキストを自動的に映像に変換したり、さまざまなサービス展開ができます。T2V プレイヤーで作られた CG 映像はムービーファイルに変換して記録保存する機能も内蔵しているので、作品を手軽に動画サイトなどで公開することもできます。尚、T2V プレイヤーは、T2V ウェブサイト (<http://t2vlab.jp/>) からダウンロードできます。

当社は、TVitcher を Twitter ユーザーに無償提供することで、当社の T2V 技術を広く普及させ、その後の展開として、利用者へのプレミアム・キャラクターやアイテム、演出を、企業に対しては Twitter を利用したマーケティングツールとしての有償サービスに繋げていく予定です。

(*)TVML

TV program Making Language の略で、1996 年に日本放送協会放送技術研究所（NHK 技研）により提案されたテレビ番組を記述する専用言語。

以 上

リリースに関するお問合せ
株式会社インターネット総合研究所
総務人事部 對馬 (つしま)

<https://www.iri.co.jp/jp/form/contact.html>

TEL: 03-5437-2560

FAX: 03-5437-2565

【TVitcher の機能】

TVitcherのメイン画面

つぶやきに合わせてキャラクタが動き、しゃべります。



タイムライン(つぶやきの履歴)表示画面

ユーザ名や検索語句に基づき、履歴を表示します。表示されるURLからリンク先に飛ぶこともできます。



つぶやきの投稿画面

TVitcherからつぶやきを投稿することもできます。その他、Twitterを使うためのほとんどの機能が備わっています。